

# のり子 松本

神戸市会議員



## ごあいさつ

4月といえば入学式。新しいステージに立つ皆様は、希望に満ちていることと思います。神奈川にいる私の孫も幼稚園3歳児クラスに入園です。毎日「幼稚園に入れる」と喜んでいますが。昨年11月に3歳児クラスに入園が決まりましたが、何と150名。幼稚園の応募用紙をもらうのに当日のAM5:00に並んでも122番目。首都圏の幼稚園はこのような状況のようです。

人口減少社会の中、東京一極集中は増々深刻化していきます。孫の家のあたりには、「こんなに子どもがいるんだ!」とびっくりします。普段東灘を歩いても大勢の子どもに会うことがありません。

我が息子や娘同様、地方に住む若者たちが職を求めて東京に集まっています。しかし東京が好きだからではなく、地方では、神戸では働く場所が見つからないからです。

このような状況を改善し、神戸をはじめ地方が活性化できるよう地域での雇用を確保し、地域でお金を回すしくみをつくる必要があります。第一次産業、観光、再生可能エネルギーなどを真剣に考え、地域の再生に必要なとりのくみが今、求められるのではないのでしょうか。



122番の自分の番号の前で

## 都市空間向上計画

### 都心の過密化と郊外のきりすてに拍車をかける計画は中止に!

神戸市は「50年先の人口動向を見据えて地域を設定する」として計画を策定しました。「都市空間向上計画は、民間サービスが維持される可能性が高い場所、低い場所を出発点としている」「民間の維持が難しい場所には、神戸市も都市機能を集積しない(副市長答弁)としています。

神戸市も人口減少は避けられません。しかし「市場原理にまかせ、民間が儲からない地域は、行政も責任をとらない」と切り捨て、駅前や周辺に行政サービスを集中させる計画は、まちづくりとしてまちがっていると指摘しました。

いま、都心や周辺の中央・灘・東灘区では、地価の上昇で、保育所や学校の用地確保が困難になっています。土地代や遠距離通学への補助などで新たな行政コスト負担も発生しています。市



神戸市都市空間向上計画の誘導指針



決算特別委員会で質問

場原理にゆだねれば、小学校の教室が不足している地域でも、民間会社はマンションを建設し、さらに過密は悪化します。

「まちをコンパクトにすることで、行政コストが効率化される」というのは幻想です。

松本議員は、住民の福祉とまちのバランスのとれた発展のためには、民間サービスが撤退して困っている地域を助ける、行政のまちづくりの基本に立ち戻ることを求めました。

## 「民泊」から住民生活を守れ

一般住宅やマンションを「民泊」とすることで、地域住民の生活環境の悪化が問題になっています。神戸市で「住宅専用地域」や「学校・児童福祉施設」周辺は原則禁止しました。

松本議員は「マンションでの規制方法の周知徹底」「民泊に対する苦情窓口の設置」などを神戸市の責任で進め「住環境に悪影響を与える『違法な民泊』の根絶」を求めました。

## 主な請願・陳情に対する各会派の態度

○採択 ×不採択 —常任委員会に委員がない

件名	日本共産党	自民党	公明党	民進こうべ	維新の会	民進党	無所属
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充等を要請する意見書提出を求める請願	○	×	×	×	×	×	×
消費税率10%への増税の中止を要請する意見書提出を求める請願	○	×	×	×	×	○	×
来年度介護保険料の値上げをしないことを求める陳情	○	×	×	×	×	×	—
国民健康保険の神戸市独自の人的控除の継続等を求める陳情	○	×	×	×	×	×	—

東灘区情報

## 地域福祉センターの増築・改修はじまります

● 本山南地域福祉センターの1階部分は狭く使い勝手が悪いので、1階70平米ほど広げて地域の方が使いやすいように、今年度、増築する計画です。



増築予定地

● 魚崎地域福祉センターは、エレベーターがないため2階の地域福祉センターを使えない方もおられます。1階の事務所部分を地域福祉センターの会議室にして、足の不自由な方でも使用できるようになります。(平成31年～工事)



魚崎地域福祉センター

## 保久良山に外灯がつけました

保久良山は、保久良神社でラジオ体操をする区民でにぎわっています。しかし「陽が昇らない早朝は暗くて危険なため、ぜひ外灯を！」との要望が登山者から寄せられました。「安心安全の保久良山を！」と建設局に要望し実現しました。



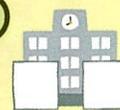
新たな外灯

● 松本のり子までご相談ください ●

◎ 日本共産党神戸市議員団  
神戸市中央区加納町 6-5-1 神戸市議会内 ☎ 078-322-5847  
WEBサイト <http://www.jcp-kobe.com/>

◎ 東灘事務所 東灘区住吉宮町 3-15-8 ☎ 078-414-8875

## 本山第一小学校の仮設解消へ



1875(明治8)年12月、田辺小学校として民家を仮用開設しました。1933(昭和8)年には本山第二小を新設して分離、1955(昭和30)年には本山第三小の新設で分離、1977(昭和52)年本山南小、福池小新設分離して現在にいたっています。この間の児童増にともない、仮設校舎が本校舎の北側にたつたまま解消のメドがたちません。過密校問題で議会のたびに質問してきました。平成31年度から仮設を本校舎に建て替える検討がはじまります。現在、東灘には6校の仮設校舎があります。引き続き地域にあった解消策を求めていきます。



本一小をはじめ、市内の仮設校舎について教育委員会と懇談

## 学童保育(放課後児童クラブ)の拡充を



子育てと仕事の両立支援を目的として放課後大人の家族がいない小学生のため実施しています。これまでは小学3年生までの受け入れでしたが、6年生までの受け入れを進めています。

児童館・学童の大半は場所が狭く拡充を求めてきました。平成30年度からは新たに東灘小の4年～6年生までの児童は大日神社境内の深江生活文化史料館3階を借りて受け入れることとなりました。しかし来年からは人数が増えるため、早急に対策が求められます。これで、6年生受け入れは6ヶ所となりました。全児童館で受け入れるよう、引き続き求めていきます。



4～6年生の新たな児童館

## 認知症事故救済制度にかかる超過課税について

認知症の人にやさしいまちづくりを進めることや、事故救済の制度は必要です。しかし財源を超過課税でまかなうべきでないかと質問しました。市長は「社会全体で負担を分かち合うとの観点で個人市民税の増税が適当」と答弁。

松本議員は、「新たな事業をする場合には増税を提案するのではなく、税の使い方を見直すことが必要。誘致企業には60社に年間6億円の減税をしています。認知症は年間3億円の予算です。税の使い道こそ見直すべき」と質しました。



3月29日に神戸市議会本会議がひらかれ、山本じゅんじ議員が一般質問にたち、神戸製鋼石炭火力発電所増設の問題や神戸市都市空間向上計画について久元市長の政治姿勢を質しました。

## 市長は建設中止を求めよ

国の環境大臣は神鋼石炭火力発電所の建設について「温暖化対策の道筋が描けない場合は建設を容認できない」との大臣意見が提出され「選択肢の中には事業計画の中止や撤退も含まれる」と非常に厳しい内容となっています。

久元市長も神鋼石炭火力発電所の増設について「環境評

価意見書において事業実施は温暖化防止実現の見通しをもって行う必要がある」としています。

山本議員は「計画認可を判断する経済産業省に対して建設中止を求める緊急の意見書を提出するべき」として見解を求めました。



## 山本議員が一般質問

山本議員：地元では建設問題で大きな反対運動がおこっている。健康問題や将来に対

する影響もあり放置できる問題ではない。

### 答弁ダイジェスト

山本議員：市長は神戸製鋼ではなく、地域住民の代表であるべきで地域住民の立場に立ち、建設の中止を求めるべき。

久元市長：石炭火力の位置

づけは国において議論していただきたい。本市としては、CO<sub>2</sub>排出量をできるだけ削減するという考え方に立ち、環境影響評価に基づく手続きを進めていく。

神戸市は、まちづくりのあり方を大きく変えようと「神戸市都市空間向上計画(案)」を発表しました。計画では人口減少を理由に市街地の「適切な人口密度を保つ」ためとして「居住誘導区域」と「居住誘導区域外」に分けようとするもので、ニュータウンなどの宅地を「住宅以外に転換」することを上から決めようとしています。

これではニュータウンの多くの部分が「居住誘導区域外」となる可能性があり、地域からは「ニュータウンは切り捨てなのか」などの声が上がっています。

山本議員は「居住を誘導する地域としない地域を分ける

ことで、切り捨てとなる地域が生まれる」として地域指定

### 答弁ダイジェスト

岡口副市長：ゆとりある居住地域は都市機能の集積を目的とする区域ではないが、引き続き居住してもらえる。この区域の設定が、この度の計画で必要である。

山本議員：サービスを維持

はすべきではないとして見解を求めました。

する地域としない地域などと、こういうふうに分けて良いのか。市場原理にあわせるのが行政の仕事なのか。どこであっても行政サービスが等しく提供されなければならない。

岡口副市長：民間業者の撤退が発生している地域もある。まずは民間サービスが継続して提供してもらえるように、一定の人口規模と密度を維持する区域として居住推奨区域を設定する。

山本議員：何のために、そこに行政があるのか。民間ができないからこそ行政のサービスが存在するのではないか。

## 神戸市は居住区域を分けるような計画はやめよ





料金別納  
郵便

なんでもお気軽にご相談ください。

日本共産党兵庫区事務所 TEL.577-7987  
日本共産党神戸市会議員団 TEL.322-5847

## 母の目線で市政をチェック

神戸市会議員

大かわら  
鈴子

すずこ



日本共産党 神戸市会報告  
春号 兵庫区版

発行

日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町651 神戸市議会内  
TEL.078-322-5847 FAX.078-322-5265

OPEN



### ごあいさつ

一か月余りにわたった予算議会が終わりました。季節は、沈丁花の香りから、桜の美しい姿へ。そして緑の色が鮮やかになり始めています。心穏やかに季節を楽しめる神戸であってほしいものです。

市長は、安倍政権に追随した三宮一極集中の巨大開発を加速させようとしています。しかし市民の声は聞かれないままトップダウンですすすめられています。神戸駅から文化ホールへ続くなだらかな坂道には、たくさんの彫刻などが配置されています。先日通りかかると小さな男の子とお父さんが次々と写真を撮りながら楽しまれていました。文化ホールの三宮への移転も市民にとっては寝耳に水。せっかくの文化ゾーンを市長の意見だけで壊してしまうなんてとんでもありません。三宮一極集中でなく、文化都市神戸にふさわしい施策が求められています。

日本共産党神戸市議団

検索



プロフィール

1965年佐用郡佐用町(旧南光町)生まれ。兵庫県立総合衛生学院看護科卒業。15年間川崎病院で看護師として勤務。大沢たつみ元参議院議員秘書を経て、2003年神戸市会議員当選。現在4期目。

## 地域切り捨ては中止を — 都市空間向上計画 —

市街地を縮小し、都心・三宮に商業・行政施設などあらゆる機能を集中させる都市空間向上計画。ニュータウンや防災上問題のある地域は「居住誘導区域外」として市街地地域から外そうとしています。そうなれば、医療や福祉、交通、行政サービスは保証されなくなります。逆に三宮など「居住誘導区域」では、過密化や地価高騰に拍車がかかる。これで神戸市の活性化はできません。どこでも安心して住み続けられるための施策こそが必要です。

## 健康ライフプラザ トレーニングジムの存続を

健康ライフプラザのトレーニングジムは、年間約13万人が利用する健康づくりの拠点施設です。神戸市は、コスト削減のため9月末で閉鎖しようとしています。「高齢や障害のある方でも安心して利用できるジム」だと多くの市民から存続を求める声が上がっています。神戸市はこの声を聴くべきです。



## 市場・商店街、中小業者の 支援強化を

イオン開業で地域の商店街等に影響が広がっています。大企業支援強化ではなく、地元の市場・商店街や中小業者支援こそ強化するべきです。大かわら議員は、中小企業対策や市民に借金だけが残る神戸空港の民営化などについて質しました。



経済港湾委員会会で質疑する  
大かわら議員

## 震災復興・借上住宅 継続入居を

神戸市は、借上住宅の入居者に退去を迫り、次々と裁判に訴えています。入居時には、期限は示されておらず突然神戸市が政策転換したためこの問題が起こっています。大かわら議員は、「被災自治体が被災者を訴えるなどあってはならない」と継続入居を求めています。



街頭から訴える  
大かわら議員(右)と  
前田党区県政対策委員長



# 市民の暮らし 支える予算に



市長は「子育て・教育、高齢者・障害者施策などすべての世代を対象とした社会保障は厚みを増している」と胸を張っています。しかし現実には国の悪政のもとで暮らしや中小業者の営業は厳しさを増しています。だからこそ自治体が防波堤としての役割を果たすべきです。市長提案の新年度予算は、「陸・海・空」の大型開発推進にとどまらず、三宮一極集中と地域切り捨てを中心に据えた街づくりを進めようとしています。また国保料や介護保険料の値上げなど市民負担を強いるものです。このような予算を市民の願いの実現のためのものに組み替え提案しました。

## 予算組み替え提案

### 中止・見直す主な事業

- 三宮・ウォーターフロント開発…85億円
- 戦略港湾、湾岸道路、神戸空港…98億円
- 医療産業都市構想の推進……………36億円
- 誘致企業の減税(約60社)……………6.6億円  
など

**44事業 103億円**

※合計は一般会計分のみ

### 財源対策

- 福祉施策を切り捨てため込んだ  
基金などを市民に還元……………35億円

### 実施を提案する主な施策

- 中学卒業まで医療費無料……………20億円
- 介護保険料の値上げ中止……………21億円
- 国保料の引き下げ……………18億円
- 無料の敬老・福祉バス復活……………11億円
- 小学校全学年で35人学級……………8億円
- 保育料を政令市平均まで減額……………3億円
- 中小企業や農業の事業継承補助など…5億円
- 住宅・店舗リフォーム助成……………8億円
- 地域の病院や商店の維持と活性化策…6億円  
など

**53事業 152億円**

予算の **2%** の組み替えで実現できます

### ごあいさつ

議員として4年目になりました。日ごろのご協力に感謝申し上げます。

季節も厳しい寒さのあと、桜が一気に開花して、葉桜の下での桜見物や花

見会になってしまいました。市民の声も市政や国政にいっせいに届けて世の中に憲法という大輪の花が咲くよう、ひきつづき全力でがんばります。



# 林まさひと

日本共産党 神戸市会議員

## 委員会質問より

林まさひと議員は、今年度の予算を審議する2～3月議会で、「行財政局」の審査で質疑しました。

神戸市は『三宮再整備』のなかで、本庁舎2号館の建て替え構想を発表しました。また3号館も本庁機能を廃止して、新中央区総合庁舎に建て替えるとしています。

現在本庁舎2号館・3号館の行政機能は総面積で3万3千㎡あります。建て替え後の2号館は5万㎡になりますが、文化ホールや夜の賑わい施設など民間の集客施設を入れるため、行政機能は1万5千㎡しか確保されません。

本庁舎2号館の基本構想(案)では、庁舎建て替え後の行政機能について「精査する」としているだけ。林まさひと議員は民間企業の金儲けのために市民の財産である公共施設を明け渡すようなことは許されないと批判しました。

行政施設を再編し本庁舎から民間ビルを賃貸して移すなど無駄な税の支出を増やすのは本末転倒です。

市税の滞納の件では、よくよく本人と話し合って徴収すること、安易な差押えをしないことなど求め、滞納している納税者に寄り添って「換価の猶予」や分納など本



予算特別委員会で質問する林まさひと議員

人の意思も尊重することを求めました。「換価の猶予」は職権の場合のほか本人申請でも出来、認められれば最長2年間、納税が猶予されること、延滞料も大幅に減免されるというメリットを良く知らせるよう指摘しました。

## 地域切り捨てを許すな!都市計画の問題点を斬る!

神戸市都市計画審議会で審議され、予算議会でも議論になったのが、神戸市「都市空間向上計画」とマスタープラン三宮構想。日本共産党市会議員団は、パブリックコメント募集期間中に市民に二つの計画の問題点をよく知ってもらおうと各地域で市政学習会(報告会)を開催しました。西区では、林まさひと議員が各地の会場で報告し参加者の質問に答えました。(写真参照)

神戸市の計画案は、人口減少を理由に市街地を「適切な人口密度を保つ」ため、「居住誘導区域」と「居住誘導区域外」に分けるものです。とりわけ神戸市が開発し分譲してきた「ニュータウン」などの郊外の住宅地を「区域外」に指定して「ゆとりある居住区域」という名のもとに「住宅以外に転換」させようとしています。スーパーなどが撤退しても「生活に必要なサービスを…自助・共助・公助のバランスをとりながら…検

討し」ていくとなっています。マスコミも「外れた地域はどうなるのか?当然、資産価値が下がるだけでなく、インフラの修繕なども後回しとなり荒廃する可能性が高い」(週刊ダイヤモンド2/3号)と指摘します。高齢化や人口減少にどう立ち向かっていくのか、自治会などみなさんの努力を応援し、さらに若い世代を

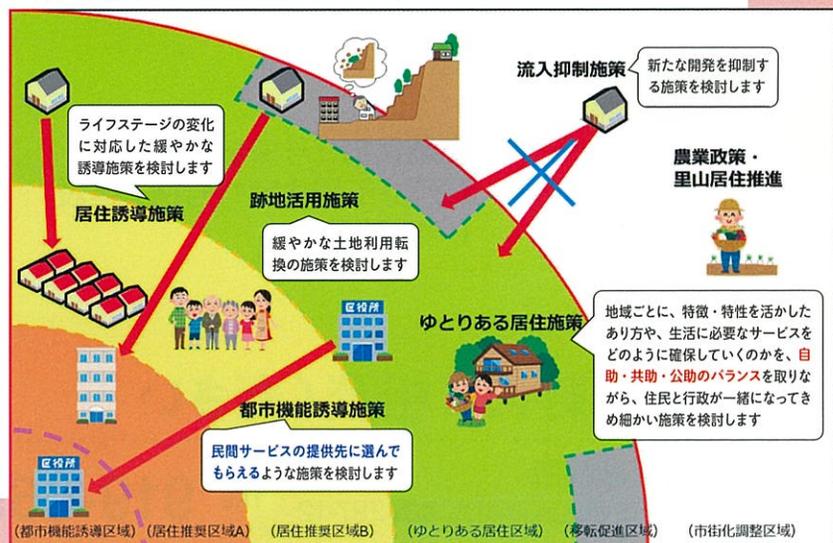
呼び込む保育園・学校などの施設や生活利便施設の誘致などで、神戸のどこに住んでもゆとりがあり、みんなが住み続けたいまちづくりこそ必要ではないでしょうか?と林まさひと議員は指摘し、みなさんの自分の財産権・居住権を守ることを呼びかけています。



上/学習会で報告する林まさひと議員。

右/神戸市が都計審で示した図。

■神戸市都市空間向上計画の誘導方針 (2月発表の資料)



# 今年予算で実現した主な施策

## 就学援助の充実

小学校、中学校の新入学児童生徒学用品費が3月に前倒し支給されました。



## 学校園の環境整備

### 学校園のトイレ改修

小学校、中学校のトイレが順次洋式トイレに改修されます。

#### 小学校

有瀬小学校  
伊川谷小学校  
木津小学校  
出合小学校  
春日台小学校  
岩岡小学校

#### 中学校

長坂中学校  
桜が丘中学校  
玉津中学校  
平野中学校



## 学校エレベーターの設置

必要とする児童生徒の入学に合わせて小寺小学校、長坂中学校に今年度設置予定。

## 校舎の増築

児童の増加に対応し、学童保育施設と合わせて井吹東小学校の校舎増築。



増築される井吹東小学校

## 3歳児保育 (市立幼稚園での一部拡大)

玉津第二幼稚園で31年度実施に向け改修工事が。

## 玉津庁舎に行政機能の存続を

区役所機能移転後の建物利活用について、当分の間利用可能と判明…行政機能

の存続や図書館の分館を地域の要望として、求めています。



## みなさんの願いを

### 議員団として 要望してきました

## 西図書館の拡充

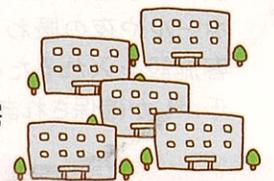
人口規模等に応じた図書館整備として、新西図書館の基本計画策定。

## 産業廃棄物対策と不法投棄対策

- 不法投棄や無許可の土砂搬入等を未然防止するためにあらたに拠点を設けて職員がパトロールに当たる。県・市の所有するヘリコプターを借用して空からの監視「スカイパトロール」を年4回に増やす。
- 土砂搬入の許可業者に対しても立ち入り検査の回数を増やす(年1回から6回へ)。内容物の検査も同時に行なう。

## 市営住宅

玉津住宅1～5号棟を建て替え住宅に指定、32年度までに着手。



## 道路改良・渋滞対策

神戸三木線の渋滞対策として、西盛口交差点の道路改良の検討を進める。

## 神戸電鉄支援策

- 神鉄シーパスワン・シーパスワンプラスの利用が拡充されました。一人当たり5枚まで購入可能に!販売開始は、5月1日から(粟生線では「栄駅旧売店」で5月31日まで販売されます)。
- 高校生の通学定期補助は、北神急行利用の場合に導入されました。

## お知らせ

- 王塚住宅9号棟を建替えて(仮称)王塚住宅11号棟を建設(戸数95戸)

- 西神ニュータウン  
かりばプラザリニューアルについて仮設への移転などテナントへの対策の予算がついています。



お気軽にご相談ください

西区事務所  
神戸市西区玉津町高津橋 297-12

TEL 919-6650 FAX 918-3772

〒650-0001 中央区加納町 6-5-1  
市会控室 078-322-5847

発行

日本共産党神戸市会議員団  
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内

http://www.jcp-kobe.com/



議会速報

# 垂水区いじめメモ隠ぺい問題

## 真相の解明へ全力

日本共産党  
神戸市会議員団

2016年10月に垂水区で起きた中学3年生の女子生徒の自殺を巡って、いじめを証言した同級生からの聞き取りメモを神戸市教育委員会が隠ぺいしていたことが大問題になっています。

### 一人の生徒の命が、こんな軽く扱われていいのでしょうか？

このメモは、事件直後に同級生が勇気を振り絞って、自ら命を絶った生徒に対していじめがあったことを教師に語ったものの記録です。自殺といじめの因果関係を解明するうえで重要な証言です。

遺族は、なぜ自分の子が死を選ばざるを得なかったのか、本当のことが知りたいと、学校や教育委員会に対してメモの存在を公開するように求め、さらに裁判所を通して「証拠保全」手続きも求めました。

教育委員会は「メモの存在が明らかになると遺族への情報開示の事務作業が煩雑になる」などとして隠ぺいを指示。学校側も「メモは廃棄した」と遺族や裁判所に対し、うそをつき続けていたのです。

隠ぺいを指示した教育委員会と、それに従った学校側の姿勢はあまりにも不誠実であり、一人の生徒の命、遺族の心情を踏みにじる行為だと言わざるを得ません。

遺族は「メモの隠ぺいは、単なる特定の職員個人の判断や職務怠慢ではなく、いじめの事実自体を隠そうとする学校そして教育委員会の姿勢そのものから生じたものと言わざるを得ません。」と語っています。いじめと自殺の因果関係を認めない教育委員会の組織ぐるみの隠ぺいだったのか、解明が求められています。

一人の生徒の死という重大性を受け止め、日本共産党市会議員団は、赤田かつのり市議、今井まさこ市議を先頭に、真相の解明と再発防止に全力でがんばります。



日本共産党議員団の委員会での追及はテレビでも報道されました  
写真は質問する味口としゆき市議(中央)と山本じゅんじ市議(左)

### 事態緊迫 前教育長の参考人招致を

#### 次回19日の委員会で各会派が態度表明

6月6日の神戸市議会文教こども委員会において、日本共産党市議ら複数の議員の提案で、前教育長ら関係者の参考人招致を6月19日の委員会で検討することになりました。

自由民主党、日本共産党、公明党、こうべ市民連合、維新の会、新社会党それぞれの議員が、参考人招致にどのような態度をとるのが問われます。

#### 神戸市会報告 垂水区版

2018年6月号外

発行 日本共産党神戸市会議員団  
神戸市中央区加納町6-5-1  
TEL078-322-5847



赤田かつのり



今井まさこ

相談や願いは 私たち  
までお寄せください

垂水区坂上4-2-16  
TEL753-5287  
FAX753-5289

連絡先

# ○教育委員会の組織的な隠ぺいではなかったのか？

## 真相の解明はこれからです

日本共産党市会議員団は、学校現場から聞き取りをおこない、さらに議会でも真相の解明へ力を尽くしています。

教育委員会は「(当時の学校長と教育委員会側担当者) 2人以外に経緯を知る教職員はいなかった」と会見し、組織としてメモ隠ぺいの関与を認めていません。

しかし、6月6日の文教こども委員会では、聞き取りメモ以外にも、教育委員会内部で作成された文書が情報公開でも意図的に隠されていた事実が明らかになりました。日本共産党市議の追及に現教育長は「今から考えれば、公開すべきであった」と謝罪。ここにも教育委員会の組織的な隠ぺいがあったのではないかときびしく追及しました。

# ○事件の幕引きは許されません

## 徹底した調査解明を

委員会の場では、他党の議員からは、教育委員会の組織改編などの提案も出されました。事件の真相解明なしに、「2人の教職員だけの問題」「組織改編」などとして幕引きは許されません。

日本共産党市会議員団は、前教育長をはじめ、この問題にかかわった事が明白な教育委員会幹部職員を参考人として招致し、議会で追及しつづける決意です。



学校現場で調査をおこなう今井まさこ市議(左)、赤田かつのり市議(中央)

## いじめのない学校へ、力をあわせてがんばります

### 日本共産党神戸市会議員団

今回の問題を通して「自分の子どもが通う学校現場がこんな状況だなんて」「いじめのない学校であってほしい」と父母や市民のみなさんから声が寄せられています。

いじめはいかなる形をとろうとも人権侵害であり、暴力です。いじめが広がっていることは、社会全体の大きな問題です。いじめをなくすためには、学校や行政の対応を改めるなど様々な課題があります。同時に、いじめ増加は子どものストレスの増大を示し、その背景には教育や社会の歪みがあります。この間、高校学区の拡大などで、受験競争がさらに激化し、生徒も保護者も過度の競争に疲れ果てている現状があります。また、生徒を画一的に管理する教育そのものをあらためることも重要です。日本共産党市会議員団は、今の教育と子どもを取り巻く環境を憂い、何とかしたいと考える市民のみなさんと力を合わせてがんばります。

# 垂水区いじめメモ隠ぺい問題 真相の解明へ全力

2016年10月に垂水区で起きた中学3年生の女子生徒の自殺を巡って、いじめを証言した同級生からの聞き取りメモを神戸市教育委員会が隠ぺいしていたことが大問題になっています。

## 一人の生徒の命が、こんな軽く扱われていいのでしょうか？

このメモは、事件直後に同級生が勇気を振り絞って、自ら命を絶った生徒に対していじめがあったことを教師に語ったものの記録です。自殺といじめの因果関係を解明する

うえで重要な証言です。

遺族は、なぜ自分の子が死を選ばざるを得なかったのか、本当のことが知りたいと、学校や教育委員会に対してメモの存在を公開するよう

に求め、さらに裁判所を通して「証拠保全」手続きも求めました。

教育委員会は「メモの存在が明らかになると遺族への情報開示の事務作業が煩雑になる」などとして隠ぺいを指示。学校側も「メモは廃棄した」と遺族や裁判所に対し、うそをつき続けていたのです。

隠ぺいを指示した教育委員会と、それに従った学校側の姿勢はあまりにも不誠実であり、一人の生徒の命、遺族の心情を踏みにじる行為だと言わざるを得ません。

遺族は「メモの隠ぺいは、単なる特定の職員個人の判断や職務怠慢ではなく、いじめの事実自体を隠そうとする学校そして教育委員会の姿勢そのものから生じたものと言わざるを得ません」と語っています。いじめと自殺の因果関係を認めない教育委員会の組織ぐるみの隠ぺいだったのか、解明が求められています。

一人の生徒の死という重大性を受け止め、日本共産党市会議員団は、赤田かつのり市議、今井まさこ市議を先頭に、真相の解明と再発防止に全力でがんばります。



日本共産党議員団の委員会での追及はテレビでも報道されました  
写真は質問する味口としゆき市議(中央)と山本じゅんじ市議(左)

## 前教育長ら関係者の参考人招致を

6月6日の神戸市議会文教こども委員会において、日本共産党市議ら複数の議員の提案で、前教育長ら関係者の参考人招致を6月19日の委員会で検討

することになりました。

一部会派は、再調査をおこなった弁護士の招致にとどめる動きもあり、自由民主党、公明党、こうべ市民連合、

維新の会、新社会党それぞれの議員が、参考人招致にどのような態度をとるのかが問われます。

# 教育委員会の組織的な 隠ぺいではなかったのか？

## 真相の解明はこれからです

日本共産党市会議員団は、  
学校現場から聞き取りをおこ  
ない、さらに議会でも真相の

解明へ力を尽くしています。  
教育委員会は「(当時の学  
校長と教育委員会側担当者)

2人以外に経緯を知る教職員  
はいなかった」と会見し、組  
織としてメモ隠ぺいの関与を

認めていません。

しかし、6月6日の文教こども  
委員会では、聞き取りメモ以  
外にも、教育委員会内部で作  
成された文書が情報公開でも  
意図的に隠されていた事実が  
明らかになりました。日本共産  
党の味口としゆき議員の追及  
に現教育長は「今から考えれ  
ば、公開すべきであった」と謝  
罪。ここにも教育委員会の組  
織的隠ぺいがあったのではな  
いかときびしく追及しました。



学校現場で調査をおこなう今井まさこ市議(左)、赤田かつのり市議(中央)

## 事件の幕引きは許されません

### 徹底した調査解明を

委員会の場では、他党の議  
員からは、教育委員会の組織  
改編などの提案も出されまし  
た。事件の真相解明なしに、  
「2人の教職員だけの問題」  
「組織改編」などとして幕引  
きは許されません。

日本共産党市会議員団は、  
前教育長をはじめ、この問題  
にかかわった事が明白な教育  
委員会幹部職員を参考人とし  
て招致し、議会で追及しつづ  
ける決意です。

## いじめのない学校へ、 力をあわせてがんばります

日本共産党  
神戸市会議員団

今回の問題を通して「自分の子ども  
が通う学校現場がこんな状況だなん  
て」「いじめのない学校であってほし  
い」と父母や市民のみなさんから声  
が寄せられています。

いじめはいかなる形をとろうとも人  
権侵害であり、暴力です。いじめが広  
がっていることは、社会全体の大きな

問題です。いじめをなくすためには、  
学校や行政の対応を改めるなど様々な  
課題があります。同時に、いじめ増加  
は子どものストレスの増大を示し、そ  
の背景には教育や社会の歪みがありま  
す。この間、高校学区の拡大などで、  
受験競争がさらに激化し、生徒も保護  
者も過度の競争に疲れ果てている現状

があります。また、生徒を画一的に管  
理する教育そのものをあらためること  
も重要です。日本共産党市会議員団  
は、今の教育と子どもを取り巻く環境  
を憂い、何とかしたいと考える市民の  
みなさんと力を合わせてがんばりま  
す。

### 傍聴にお越しく下さい

6月議会が開かれています。ぜひ傍聴にお越しく下さい。

## 金沢はるみ議員、西ただす議員が一般質問 6月25日(月) 午後2時頃から市議会本会議場にて

市役所1号館25階で傍聴手続きをお願いします。(他会派の質問の関係で時間が前後することもありますので、余裕をもってお越しく下さい)

# 小学校の過密を悪化させる 新港西再開発やめよ

神戸市議会本会議が6月15日に開かれ、日本共産党議員団の大前まさひろ議員が議案質疑に立ち、議案「神戸市民の住環境等をまもりそだてる条例の改定」について、久元喜造市長らの見解をたしました。

中央区の海岸側にある新港町西地区の再開発計画がすすめられようとしています。本議案はこの計画に伴い条例を改正するものです。

計画では高層マンション2棟700戸の住居がつけられる予定です。この地域は「こう

べ小学校」の校区であり、既に児童数が過密状態で神戸市は過密の要注意地域に指定しています。

大前議員は、このマンション計画では「小学校の過密を悪化させ市民の住環境を守れない」として見解を求めました。

## 大前議員が議案質疑



大前議員：この地区に住居をつくりたいと提案したのは神戸市側だ。マンション業者の想定は、ファミリー層の入

居を絶対妨げるものではない。要注意地区に該当している校区に神戸市が住居を増やすというのは非常に問題だ。

**答弁** 岡口憲義副市長：ウォーターフロントを満喫できる「都心リゾート型」「グレードの高い居住機能」の導入「魅力と賑わいの創出」を図るもので、みなと総局や教育委員会と協議済み。小学校の過密に特段の影響は生じない。

大前議員：住機能をつくりたいと考えているのは、事業者か神戸市か。

岡口憲義副市長：公募の条件に住機能を入れている。供給を予定している住宅は「小学生をお持ちのファミリー層ではない」、2人世帯、子育てを終了された夫婦などを想定しているため影響はない。



## 今井議員が 反対討論

神戸市議会本会議が6月22

日に開かれ、日本共産党議員団の今井まさこ議員が反対討論を行いました。

## 市民の住環境を守り育てる条例の改定

神戸市民の住環境を守り育てる条例の改定は、新港西再開発で、700戸もの住居建設計画をすすめるものです。

本会議での質疑で岡口副市

長は「児童数の増加は極めて少ない」として「特段の影響は生じない」と断言しました。

ところが、その後の「文教

## 新港西再開発 副市長答弁根拠なし 開発計画は撤回を！

こども委員会」で、岡口副市長が「児童数の増加は極めて少ない」と答弁された根拠について教育委員会が問われましたが、教育委員会はその根拠を示すことはできませんでした。

また、神戸市開発事業の手續及び基準に関する条例では、児童数の増加により過密問題が起こっている学校区で

開発を抑制することはできません。長田教育長も条例の欠陥を事実上認める答弁を行いました。

今井議員は「この委員会質疑の結果を踏まえるならば、岡口副市長の発言はまったく根拠がないことが明らかであり、本議案を撤回することは当然」と批判しました。

(2面につづく)

また、同条例改正にかかわる北鈴蘭台駅西地区計画は、桜ノ宮市営住宅2299戸を半分の1250戸にし、北鈴蘭台駅か

ら一番近い場所を低層住宅専用地に指定するものです。今井議員は、この場所は本来「市営住宅を建てるべき大

切な公共の土地を民間に売却し、民間の儲けを優先させることは許されない」と批判しました。

などは基礎控除が増えるのでメリットがあるという説明があります。しかし、国がすすめる「働き方改革」によって本来、給与所得者がフリーランス、請負という呼び名で、給与体系からも、社会保険の制度からも放り出されてしまう人々が増えていくことが想定されます。

今井議員は、これらの理由により「税制改正に伴う神戸市市税条例の改正には反対」としました。

に、給与所得控除の上限を1000万円から850万円へ引き下げれば、勤労世帯・中間層への増税になります。

国は「意図せざる影響や不利益が生じないように」と通達しているだけで、その解決策は示していません。

フリーランス・請負・起業

## 市税条例の改正

神戸市市税条例の一部を改正する条例は、所得税法、地方税法の税制の改定は、給与所得控除や公的年金所得控除額を10万円引き下げ、基礎控除を10万円引き上げる内容で

す。所得控除が削られると国民健康保険料や介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料、児童扶養手当など様々な制度に影響があります。さら

# 神戸市都市空間向上計画は中止せよ

味口議員が  
請願討論



神戸市議会本会議が6月22日に開かれ、日本共産党議員

団の味口としゆき議員が請願討論を行いました。

こうした地域の切り捨てと一体に、都心部や市街地の「過密」が進む計画の本質を市民は心配しています。神戸市が行った「意見募集」には、わずか1か月で、409件の意見が寄せられました。409件の意見で賛成

はわずか12件で市民の反対の意思ははっきりしています。

味口議員は「市民の意思は明確であり、請願者が求める『計画』の完全撤回は当然の主張である」と訴えました。

## 神戸市都市空間向上計画

請願28号は「神戸市都市空間向上計画の中止」と、ニュータウンなどを居住誘導区域外とされるなどの「地域名の発表をしない」ことを要望しています。

「神戸市都市空間向上計画」は、国がすすめる立地適正化計画を忠実に神戸に適用したものです。「立地適正化計画」は、大企業のもうけ最優先で都心の巨大開発を後押しし、地域を切り捨てるものです。これらは全て「人口減少社会」を口実にすすめられています。

ニュータウンなどで人口が減少し、高齢化がすすんでいる地域を居住誘導区域外とし、今後「緩やかに住宅以外の用途に土地利用転換を図

り、自助、共助、公助のバランスをとる区域」として、切り捨てる計画です。

## 核兵器禁止条約

請願29号は、国連で昨年7月7日に採択された「核兵器禁止条約」を日本政府に署名し、批准を求めるよう神戸市に意見書の提出を求めるものです。

2017年12月10日、ノーベル平和賞の授賞式でセツコ・サーローさんは「私たちヒバクシャは、核兵器が禁止されるのを72年間待ちわびてきました。これを核兵器の終わりの始まりにしようではありません

るか」と訴えました。核の傘に守られているなどという「核抑止力論」は、も

はや通用する議論ではありません。

味口議員は「平和首長会議に参加し、非核『神戸方式』をもつ神戸市として、意見書の提出をすべき」としました。

## 子どもの医療費を中学3年生まで無料化

子どもの医療費を中学校3年生まで無料にすることを求める請願30号については、文教子ども委員会において審議未了で廃案とされました。

味口議員は、これは「市民の請願権を侵害するものであ

り、本会議に上程された請願は本会議で採否を決するものである」として、請願討論の最後に一言申し添え、議員の皆さんの賛同を求めました。

### 2018年度所属常任委員会・特別委員会等

常任委員会	委員名	
総務財政	○赤田かつのり	朝倉 えつ子
文教子ども	今井 まさこ	味口としゆき
福祉環境	林 まさひと	森本 真
企業建設	山本じゅんじ	松本 のり子
経済港湾	◎西 ただす	大かわら鈴子
都市防災	大前まさひろ	金沢 はるみ
市会運営(議運)	△大かわら鈴子	味口としゆき

特別委員会	委員名
外郭団体等	△山本じゅんじ、大かわら鈴子、森本真
大都市税財政	△今井まさこ、林まさひと、西ただす
未来都市創造	△味口としゆき、大前まさひろ、金沢はるみ
阪神水道企業団議会議員	山本じゅんじ、松本のり子
農業委員会委員	林まさひと

◎委員長、○副委員長、△理事

# 金沢はるみ

日本共産党 神戸市会議員



## 済生会兵庫県病院・三田市民病院との統合に反対を！

6月議会一般質問で、金沢議員は三田市民病院と済生会病院の統合について市長に質しました。

三田市は、三田市民病院を民営化し、済生会兵庫県病院など、近隣病院と統合しようとしています。

三田市長は「三田市民病院新改革プラン」で「神戸医療圏域や丹波医療圏域の一部を合わせた人口30万の医療圏、すなわち三田市、篠山市、神戸市北区の北部地域、その他周辺地域を合わせた地域を想定・構築することが望ましい」と発表し、病院統合を実行するため、有識者による審議会を開いています。統合の相手として、済生会病院が有力視されています。

金沢議員は、「済生会病院は北神地域の住民にとってかけがえのない宝であり、統合は認められないと明言すべき」と質しました。

寺崎副市長は「三田市と神戸市は、医療圏域が異なっており、圏域ごとに病床数も規制され



本会議で質問する金沢議員

ていることから、圏域を超えた病床移動を伴う再編・統合は難しいのではないかといい、神戸大学及び兵庫県に伝えている」と答弁しました。

金沢議員はさらに、「統合が進まない場合、県知事は強い権限で進めかねない。絶対に守ると一言が欲しい」と追及。しかし、副市長は「指摘のような懸念を共有し、適切に対応していきたい」としか答えませんでした。

## 三田市審議会 市民の声聞かず、三田市民病院・近隣病院と統合で意見一致！



三田市民病院（上）、済生会兵庫県病院（下）

三田市では、第3回の審議会が開かれ、その中で三田市民病院を民営化して、近隣の病院と統合し500床程度の新しい病院にする方向を決めました。

次の審議会では、どういう形で民営化するのかなどを議論する予定です。

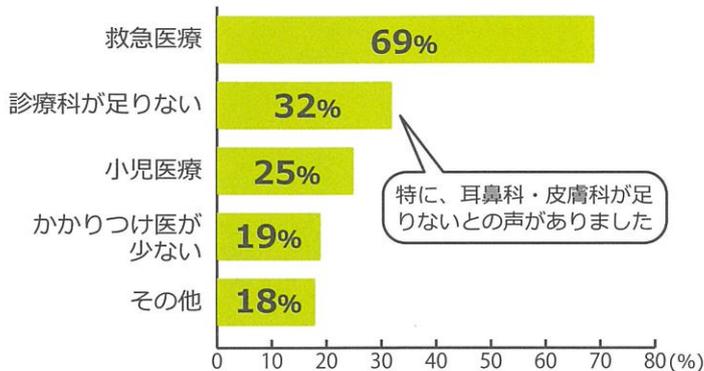
三田市民の声も全く聞かず、病院統合と民営化を進めるひどいやり方に、市民から怒りの声があき起こっています。また、神戸市民を無視して済生会病院との統合を進めるとすれば、許せません。神戸市も、はっきりと兵庫県・三田市に対して統合は認められないと拒否すべきです。日本共産党は、県会議員団・三田市会議員団とも連携して、三田市民病院と済生会病院の統合をやめさせるために力を尽くします。

# アンケートご回答ありがとうございました。

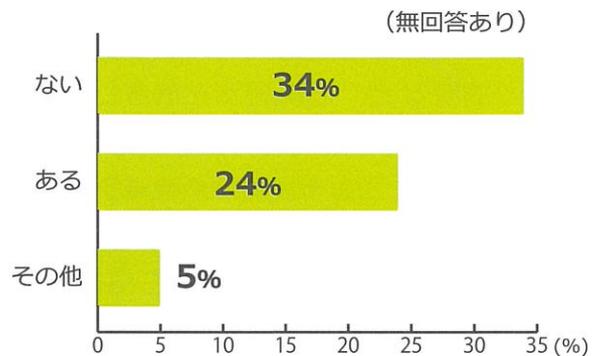
日本共産党神戸市議員団が取り組んだ地域アンケートに、たくさんのご回答お寄せいただき、ありがとうございました。北神地域（上津台～大池地域）から8月20日時点で150通以上のご回答をいただきました。現時点での中間集計の一部をご紹介します。



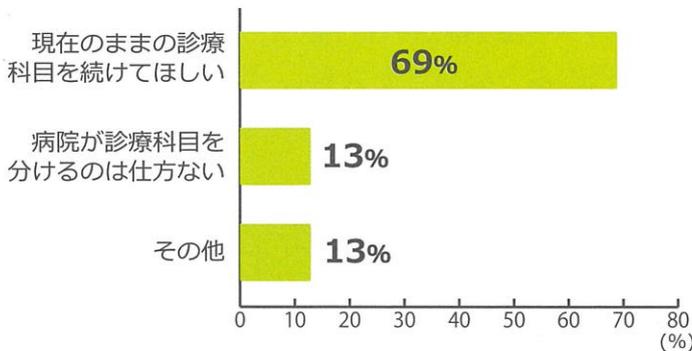
## 1 北神地域の医療で、もっと充実させてほしいことを教えてください。（複数回答可）



## 2 北区で小児救急を受け入れてくれる病院が減っています。この地域の小児救急医療で困ったことはありませんか？



## 3 北神地域では、済生会兵庫県病院が唯一の公的病院です。現在、お隣の三田市民病院の経営を民間に変える動きがあり、済生会病院が三田市民病院の経営を担う可能性もあります。そのことについてどう思われますか？



朝宣伝をする金沢議員

北神地域では、救急を受け入れてもらえず、中央区や垂水区まで搬送されたという声もありました。小児救急についても、近隣で受け入れてもらえず、HAT 神戸まで走ったなどの声は何人もの方から寄せられました。

さらに、済生会病院については、今後も現在のままの診療科目を続けてほしいとの声が7割近くの方から寄せられました。

今後、皆さんの声をしっかり議会に届けてまいります。

なんでもお気軽にご相談ください！

◎市会控室  
〒650-0001 中央区加納町6-5-1  
☎ 078-322-5847

◎党北区事務所 ☎ 078-591-4755  
◎議員団北区事務所 ☎ 078-987-1130

